

第 181 回 学長定例記者会見

日時：令和7年7月25日（金）11：00～11：30

場所：メイン会場：広島大学東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

サブ会場：広島大学東千田キャンパス A304 棟中会議室

※サブ会場は、テレビ会議システムによるオンライン参加

※ 会見終了後、YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 8月6日に世界の大学長らが集結！第4回平和学長会議を広島で開催します（8/6開催）
2. 次世代の Global Innovation を牽引する日アフリカ間の科学技術分野の大学連携 第9回アフリカ開発会議（TICAD9）テーマ別イベント 日アフリカ大学シンポジウム開催のお知らせ（8/20開催）
3. オオサンショウウオの外来種問題に対応する両生類研究センター研究飼育槽の完成と公開

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告
2. 8月6日に広島大学原爆死没者追悼式を実施します
3. 日本で初めての全国学生ウェルビーイング実態調査を実施
ーハーバード大学などと連携ー
4. 広大生が母校の高校を訪問し広報活動を行う「工学部キャンパスサポーター」事業を実施
5. 【第9回 日本組合せゲーム理論研究集会開催記念】
中高大学生及び一般向けゲーム大会＋公開講座
「ゲームとパズルで遊んで学んで、さらにその先へ！」（8/23開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和7年8月27日（水）

場所： 広島大学 霞キャンパス

令和 7 年 7 月 25 日

～8 月 6 日に世界の大学長らが集結！～
第 4 回平和学長会議を広島で開催します

広島大学は、被爆から 80 年という節目の年を迎えるにあたり、2025 年 8 月 6 日、広島原爆の日に「第 4 回平和学長会議」を開催いたします。この会議では、平和学長宣言の趣旨に賛同した世界の有力大学の学長が集結し、持続可能な世界平和に向けた大学の役割について議論します。

現在世界で起きている紛争や我々が直面する持続可能な開発目標の課題を考慮すると、和平プロセスには多様な視点と深い理解が不可欠だと考えています。大学には、将来の人材育成、研究の実施、その成果の社会への実装、リーダーシップの発揮といった、重要な役割や期待が託されています。我々は、これらの責務に対して、対話が最も効果的な平和構築の手段であると考えます。

そこで、被爆地広島に開学した「平和の大学」として、広島大学はこの会議を通じて、世界の主要大学の学長らと共に、持続可能な平和への道筋を探ります。この会議では、平和に向けた共通の理念や行動指針を共有し、対話を続ける強い意志を確認することを目指します。

日 時 : 2025 年 8 月 6 日 (水) 14:20～16:10
会 場 : 広島大学東千田キャンパス SENDA LAB
開 催 校 : 広島大学
言 語 : 英語 (同時通訳なし)

<参加予定大学 (調整中)> 10 か国・地域 13 大学

- ・日本：広島大学、国連大学、福島県立医科大学
- ・米国：アリゾナ州立大学、コロンビア大学
- ・台湾：国立中央大学
- ・イタリア：ペルージャ外国人大学
- ・マレーシア：トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 (UTAR)
- ・インド：インド工科大学ボンベイ校
- ・スウェーデン：世界海事大学
- ・ポーランド：ワルシャワ大学
- ・ドイツ：ライプツィヒ大学
- ・スペイン：バスク大学

海外大学長らは、8 月 6 日の平和記念式典や、本学東千田キャンパスで開催される原爆死没者追悼式にも参加を予定しています。

【プログラム】（※今後変更の可能性があります）

| 時間 | プログラム |
|-------------|----------------------|
| 14:20-14:25 | 記念撮影 |
| 14:25-14:30 | 開会挨拶（広島大学長越智光夫） |
| 14:30-14:35 | 松井 一寛 広島市長挨拶 |
| 14:35-15:05 | 各大学からのスピーチ① |
| 15:05-15:20 | コーヒーブレイク |
| 15:20-15:50 | 各大学からのスピーチ② |
| 15:50-16:05 | 平和学長宣言採択 |
| 16:05-16:10 | 閉会挨拶（広島大学理事・副学長金子慎治） |

司会：広島大学 理事・副学長（グローバル化担当）金子慎治

※ご要望があれば、閉会後に 10 分程度ぶら下がり取材（越智学長、金子理事）を予定。

※メディアの方は、すべてのプログラムについての取材が可能です。

<参考：過去の開催実績>

| | 概要 | 参加大学 |
|-------|--|--|
| 第 1 回 |  <p>開催日：2024 年 8 月 6 日 会場：SENDA LAB</p> <p>世界 7 カ国・地域 10 大学の学長らで平和と持続可能性に関する大学の役割を議論し、「平和学長宣言」を採択しました。</p> | <p>7 カ国・地域 10 大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本：広島大学 ・ 米国：アイダホ大学、コロンビア大学 ・ 台湾：国立成功大学、国立中央大学 ・ イタリア：パヴィア大学、ペルージャ外国人大学 ・ インドネシア：ハサヌディン大学 ・ インド：インド工科大学ボンベイ校 ・ スウェーデン：世界海事大学 |
| 第 2 回 |  <p>開催日：2024 年 11 月 25 日 会場：SENDA LAB</p> <p>アフリカ連合を代表してパンアフリカン大学の 4 つのキャンパスからの代表団を迎え、アフリカにおける平和と高等教育の連携について議論が深められました。</p> | <p>5 カ国・3 大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学 ・ パンアフリカン大学 <ul style="list-style-type: none"> ・ PAUWES（アルジェリア：水・エネルギー科学） ・ PAUSTI（ケニア：基礎科学・工学・イノベーション） ・ PAUGHSS（カメルーン：ガバナス・人文科学・社会科学） ・ PAULESI（ナイジェリア：生命地球科学） ・ トレムセン大学（アルジェリア） |

第3回



開催日：2025年3月21日
会場：リーガロイヤルホテル「宮島」

本学が5事業連続採択となっている文部科学省・世界展開力強化事業のパートナー大学を招き、学生の国際交流を通じた平和について議論を深めました。

11カ国 12大学

- ・ 日本：広島大学
- ・ インド：ビルラ技術科学大学ピラニ校
- ・ インドネシア：インドネシア教育大学
- ・ オーストリア：グラーツ大学
- ・ エジプト：カイロ大学、エジプト日本科学技術大学（E-JUST）
- ・ ザンビア：ザンビア大学
- ・ スウェーデン：世界海事大学
- ・ タイ：カセサート大学
- ・ マラウイ：マラウイ大学
- ・ 英国：シェフィールド大学
- ・ 米国：アリゾナ州立大学

【お問い合わせ先】

国際室国際部グローバル化戦略グループ 吉盛・河原林

TEL:082-424-4621/6045

（携帯：8/6 限り 090-2290-5115<吉盛>）

令和 7 年 7 月 25 日

次世代の Global Innovation を牽引する
日アフリカ間の科学技術分野の大学連携
第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）テーマ別イベント
日アフリカ大学シンポジウム開催のお知らせ

広島大学は、第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）のテーマ別イベントとして、2025 年 8 月 20 日、「Global Innovation 日アフリカ大学シンポジウム～日アフリカ間の人材育成、科学技術協力の未来を描く～」を実施します。

若年人口の増加と経済成長の潜在力を背景に、アフリカの国際的な重要性が高まっており、2025 年を「アフリカの若者とイノベーションの年」と位置づけたアフリカ連合（AU）の方針のもと、日アフリカ間の人材育成と科学技術協力は一層重要性を増しています。

これまで日本とアフリカの高等教育協力は、主に支援型の枠組みが中心でしたが、近年はアフリカの大学が自立的に教育・研究を行えるよう、知識や技術の移転や対等な連携が求められています。広島大学はその先駆けとして、2024 年 11 月にはアフリカ連合が設置するパンアフリカン大学と世界初の大学間協定を結び、科学技術分野での学術・教育連携の拡大に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、気候変動、公衆衛生、持続可能な開発といった共通課題の解決に向け、日本とアフリカの政府・大学・研究機関等関係者が意見交換を行い、科学技術分野における持続的な人的交流やイノベーションを支える教育・研究基盤の構築に向けた可能性を探ります。

【日 時】 令和 7 年（2025 年）8 月 20 日（水）10:00～11:30

【会 場】 パシフィコ横浜（横浜国際平和会議場） 展示ホール D
（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1）

【形 式】 対面

【対 象】 どなたでもご参加いただけます

【言 語】 英語 ※同時通訳あり

【参加費用】 無料

※メディアの方は、すべてのプログラムについての取材が可能です。

< プ ロ グ ラ ム (調 整 中) >

| 時間 | プログラム |
|-------------|--|
| 10:00-10:05 | 開会挨拶 (広島大学学長 越智光夫) |
| 10:05-10:25 | 基調講演① アフリカ開発銀行 教育・技能開発マネージャー Hendrina C. Doroba (ヘンドリーナ・C・ドロバ) 氏 |
| 10:25-10:45 | 基調講演② START International 名誉事務局長 Hassan Virji (ハッサン・ヴィルジ) 氏 |
| 10:45-11:30 | パネルディスカッション「日アフリカ間の人材育成と科学技術協力の未来」 【登壇者(調整中)】 ①パンアフリカン大学 学長 Jean Kouliadiati (ジャン・クリジャーチ) 氏 ②RUFORUM (農業能力構築のための地域大学フォーラム) 事務局長 Patrick Okori (パトリック・オコリ) 氏 ③エジプト持続可能開発機構事務局長 Bahaa El-Ghannam (バハー・イルガンナム) 氏 ④ジョモ・ケニヤッタ農業技術大学学長 Victoria Wambui Ngumi (ビクトリア・ワンブイ・ングミ) 氏 ⑤文部科学省高等教育局参事官(国際担当) 佐藤邦明氏 ⑥住友商事株式会社 アフリカ支配人 アフリカ住友商事会社 社長 中東・アフリカ住友商事グループ Deputy CEO 新田臣平氏 ⑦広島大学 医系科学研究科教授 新福洋子 【モデレーター】 ・広島大学理事補佐 Hany El-Shemy |

【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部グローバル化戦略グループ 吉盛・河原林
Tel : 082-424-4621
E-mail : g-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 7 年 7 月 25 日

オオサンショウウオの外来種問題に対応する 両生類研究センター研究飼育槽の完成と公開

広島大学両生類研究センターは、世界四大両生類研究所のひとつであり、その中でも60年近くに及び最長の歴史を持ちます。現在はモデル両生類の国内外への提供(バイオリソース事業 NBRP)と医科学、発生および進化的研究、及び野生種を用いた遺伝生態学研究に取り組んでいます。50種3万匹という多様かつ大量のカエルやイモリを飼育し研究に用いている点においても世界最大級です。この度、センターの歴史上、そして、国内の大学として初めてオオサンショウウオ専用の飼育槽を整備し、このユニークな生物の学術研究に乗り出します。

日本の自然と文化の象徴とされる特別天然記念物オオサンショウウオ (*Andrias japonicus*) は、現在、外来種チュウゴクオオサンショウウオ (*A. davidianus* および *A. sligoi*) との交雑が進行し、我が国古来の純粋系統消失の危機に直面しています。これまで、西日本の15箇所の生息地のうち9ヶ所で交雑個体が発見され、2022年にはついに広島市の八幡川でも確認されました。現在、八幡川では成体の81%が雑種(F1)、幼生・幼体の100%が雑種第2代(F2)によって占められており、国産種は厳しい状況にあります。本学では、2023年に総合博物館の清水則雄准教授を中心に「オオサンショウウオ保全対策プロジェクト研究センター」を立ち上げ、そして、2025年、本学両生類研究センターに、本課題の学術的解決を目的として、交雑個体とチュウゴクオオサンショウウオを収容・飼育するための飼育槽が完成しました。

今後、本飼育槽を活用し、以下の課題に取り組んで参ります。

また、本日、以下のとおり飼育槽および飼育しているオオサンショウウオを公開致します。

◆取組み課題

- 1) 交雑個体を迅速に同定するための安価で簡便な DNA 解析法の確立
- 2) 野外の生息個体を網羅的に把握するための高感度な環境 DNA (eDNA) 解析法の確立
- 3) チュウゴクオオサンショウウオのゲノムだけを検出できる高感度 eDNA 法の確立
- 4) オオサンショウウオ雑種強勢の分子機構の解明 (産総研との共同研究)
- 5) 交雑個体の成長や捕食の特徴 (総合博物館との共同研究)
- 6) 放射線を利用した雑種の不妊化による繁殖阻害 (原医研との共同研究)
- 7) 外来種との交雑を起点とした我が国オオサンショウウオの進化的最終形態の予測
- 8) 日本種と中国種の純粋系統の保存と再生に向けた iPS 細胞の確立 (両生研・岡本和子助教と九州大学との共同研究)

9) 純国産種保全方法の検討（総合博物館、安佐動物公園との共同研究）

◆飼育槽、飼育個体公開

日時：2025年7月25日（金）11:45-12:15（学長会見終了後）

場所：広島大学両生類研究センター

内容：両生類研究センターの教員による説明

- センターの紹介とオオサンショウウオ飼育槽設置の経緯について
（荻野センター長）
- 交雑問題に関する本学および広島市の取り組みについて
（総合博物館：清水准教授）
- 交雑問題における当センターの役割と飼育槽を用いた学術研究について
（三浦研究員）

その他：飼育槽6槽：(94x58x42 cm)

飼育個体数…交雑種4頭、外来種1頭

【お問い合わせ先】

両生類研究センター

事務室 濱本由美子

TEL:082-424-7328 FAX:082-424-0739

e-mail: frogjimu@hiroshima-u.ac.jp



令和 7 年 7 月 25 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線 (UV) 領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) ワクチン・医薬品製造拠点の起工式を開催しました

2025 年 6 月 23 日、本学が J-PEAKS の重点拠点として整備を進める「ワクチン・医薬品製造拠点」の起工式が霞キャンパスで行われました。本拠点は、国内では難しいとされる治験薬の少量製造を可能とする施設であり、平時はバイオ医薬品を製造しますが、感染症パンデミック発生時にはワクチン製造へ切り替えられるデュアルユース設備を有した拠点となります。竣工は 2026 年 9 月、2027 年の稼働を予定しています。



起工式の様子



完成予想図

(2) 令和 7 年度 「スマートバイオ創薬等研究支援事業」に採択されました。

本学小児科・岡田 賢 教授の研究課題 (※1) が、日本医療研究開発機構 (AMED) の「スマートバイオ創薬等研究支援事業」に採択されました。

本研究は、低血糖を主な症状とする遺伝性の難病 (※2) の治療を目的としており、J-PEAKS の連携大学である神戸大学 松尾雅文 名誉教授らとの共同研究を通じて見出された核酸医薬を用いて、難病の原因となる酵素の機能を回復さ

せ、低血糖の改善を図ることを目指しています。

(※1)

研究開発課題名：「新規高機能スプライシング制御オリゴヌクレオチドをもちいた糖原病 Ia 型本邦好発変異に対する新規治療法開発」

支援金額（総額）：約 4 億円

支援対象期間：約 4 年間

(※2) 本研究の対象とする糖原病 Ia は、グルコース 6-ホスファターゼという酵素の働きが欠損することによって生じ、全国で約 100 人の患者がいると推定されています。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

未来共創科学研究本部

研究戦略部 研究戦略グループ 前田

TEL:082-424-5656

Mail:gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

8 月 6 日に広島大学原爆死没者追悼式を挙ります

本学では、広島大学に包括された旧制諸学校の教職員、学生、生徒および児童で、在職中または在学中、広島に投下された原子爆弾により被爆され、その後亡くなられた方々の霊を慰めるため、下記のとおり原爆死没者追悼式を執り行います。

記

日 時： 令和 7 年 8 月 6 日（水）午前 10 時開式
場 所： 広島大学東千田キャンパス内
「広島大学原爆死没者追悼之碑」前
（広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号）

式次第： 開式の辞
原爆死没者名簿奉納
黙とう
追悼の辞
献花及び献水
閉式の辞

※今回新たに確認された死没者 13 人を書き加えた原爆死没者名簿（記載数 2,112 人）を奉納

<参考>

閉式後、引き続き、「原爆死没者遺骨埋葬の地碑」（東千田キャンパス内）に、広島文理科大学および広島高等師範学校の関係者による献花および献水を執り行います。

【お問い合わせ先】

財務・総務室総務・広報部総務グループ 谷、ジョン
TEL:082-424-6032 FAX:082-424-6020

令和 7 年 7 月 25 日

日本で初めての全国学生ウェルビーイング実態調査を実施
ーハーバード大学などと連携ー

広島大学ウェルビーイング推進室（室長：川合紀宗・教授）は、誰もが充実感と幸福感をもって活躍できる持続可能な社会の実現に貢献することを目的に、2023 年 4 月に設置されたダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進機構の一部門として活動しています。

このたび同推進室は、国内の複数大学およびハーバード大学リー・カム・シヨン健康幸福センターと連携し、日本初となる全国規模の学生ウェルビーイング実態調査を実施しました。対象は全国の大学・短大・専門学校に在籍する学生 1,000 人で、2025 年 2 月から 3 月にかけてオンラインで調査を行いました。

ウェルビーイングは、病気がないだけでなく、身体的・心理的・社会的に良好な状態で、自らの人生に意味を見出し前向きに生きられることを指します。本調査は、学生支援の質の向上や大学サービスの改善、そして日本の高等教育における制度設計の再検討に資することを目的として、学業、経済、身体、心理、人間関係の 5 つの側面に加え、抑うつ傾向、生活満足度、性格特性、支援制度の利用実態などを多角的に把握しました。

調査結果の概要は以下および別紙のとおりです。

【学業面、経済面、心理面のウェルビーイングに懸念】

- 学業面と経済面のウェルビーイングに問題を抱えている（「低い」「とても低い」と回答した学生がそれぞれ 30.7%と 30.6%いる。
- 23%の回答者が様々な程度のうつ病の症状を訴えており、そのうち 6%の回答者はうつ病と診断される基準を完全に満たしていた。

【停滞する支援サービスの利用】

- ウェルビーイングに関する悩みを所属機関の教職員に相談したことがあると答えた学生は 12.3%にとどまった。
- 所属機関で提供される支援サービスを「役立つ」と評価する回答者が 33.6%いた一方で、25%の回答者は支援サービスを利用することに困難を感じていた。
- 支援サービスの利用が進まない背景には、支援を受けることへの心理的抵抗感や、「誰も自分の悩みを理解してくれないのではないか」という不安が含まれていた。

こうした結果を受けて、広島大学ウェルビーイング推進室は今後、ウェルビーイングに関する知識や技能を習得したと認定された学生が、同じ学生の立場から相談や支援を行う仕組みを整備する予定です。この新しい支援体制は、学生同士の関係性を基盤とし、相互扶助の観点からより気軽に支援を利用できる環境の整備を目指しています。

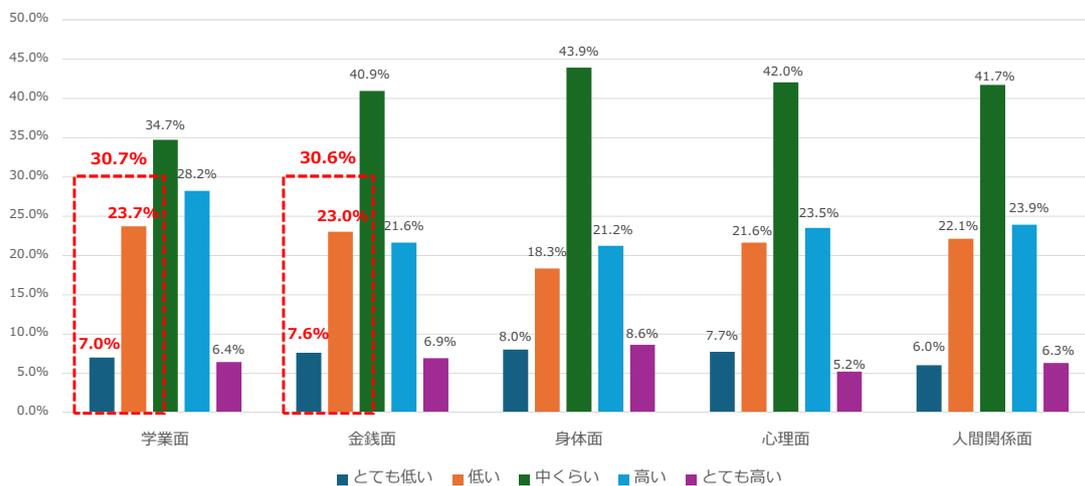
※ウェルビーイングとは…

個人の主観的な幸福感や満足感（主観的ウェルビーイング）と、自己成長、目的意識、良好な人間関係といった心理的・社会的側面（心理的ウェルビーイング）を含む、多面的で統合的な概念です。この概念は、単なる心身の健康や経済的安定にとどまらず、人生に意味やつながりを見出しながら、持続的に「よりよく生きる」ことを支える枠組みとして位置づけられています。現代社会においては、教育・保健・福祉・地域づくりなどさまざまな領域で、個人の内的な力と社会環境との相互作用をとらえる視点として、ウェルビーイングの重要性がますます高まっています。

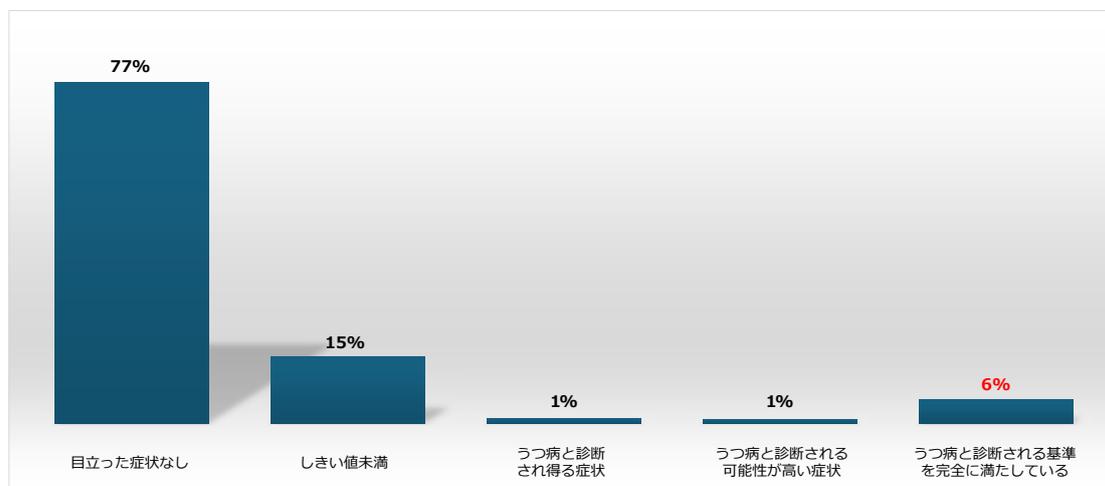
【お問い合わせ先】

| |
|--|
| 広島大学ダイバーシティ & インクルージョン推進機構 ウェルビーイング推進室 TEL: 082-424-7952 FAX: 082-424-3480 E-mail: d-and-i-wellbeing@hiroshima-u.ac.jp |
|--|

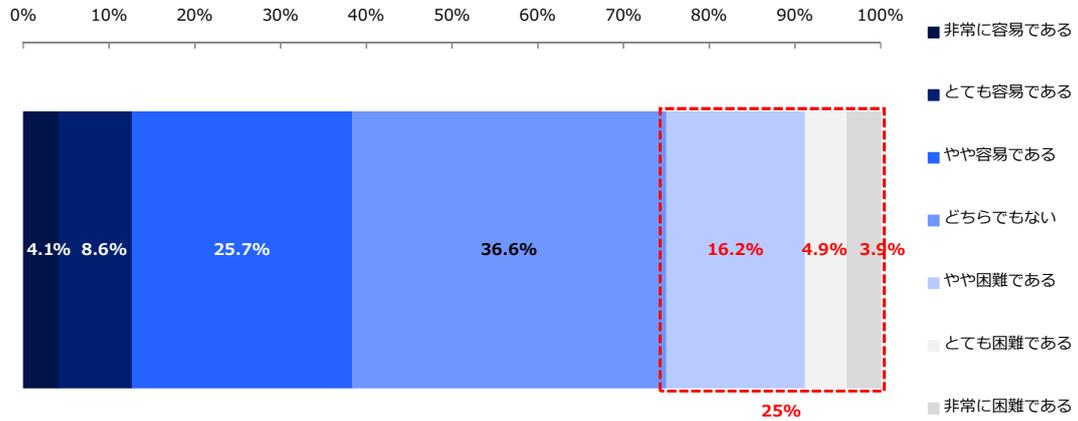
学業面と金銭面のウェルビーイングに問題を抱えている回答者 30.7%と30.6%



6%の回答者がうつ病と診断される基準を完全に満たしている



25%の回答者が所属機関で提供される支援サービスの利用に困難を感じている



令和 7 年 7 月 25 日

広大生が母校の高校を訪問し広報活動を行う
「工学部キャンパスサポーター」事業を実施

工学部の 2～4 年次の学生が、夏季休業中の帰省を利用して母校の高校を訪問し、工学部の広報を行う事業「工学部キャンパスサポーター」。

本事業は学部の広報活動に加え、学生の教育（母校・先生方への感謝、後輩への工学部 PR、社会経験）も目的としています。

昨年度から当該事業を開始し、今年度は、第 2 期生 18 人を工学部キャンパスサポーターとして任命しました。

キャンパスサポーターの活動は、高校時代の担任や進路指導の先生、後輩の高校生に対して、大学生活の様子を話しながら工学部の PR を行うことです。大学事務局から派遣学生の母校へ趣旨の説明を行い、承諾を得られた後は、学生自らが母校に連絡し、日時を決めて訪問します。

昨年度は 15 人がキャンパスサポーターとして母校を訪問しました。母校の生徒や先生からは「直接、大学生から学生生活や研究活動など日常の様子を聞く機会がないので、とても興味深い内容であった」や「広島大学は遠方の大学であるため情報が入らないので、説明をしてくれて助かる」との反響がありました。

2 期生 18 人は、今後「工学部キャンパスサポーター」として広報活動を行っていきます。



< 母校で活動するキャンパスサポーター
(昨年度) >

【お問い合わせ先】工学系総括支援室
学士課程担当 末次
TEL:082-424-7524 FAX:082-422-7039

令和 7 年 7 月 25 日

【第 9 回 日本組合せゲーム理論研究集会開催記念】
中高大学生及び一般向けゲーム大会＋公開講座
「ゲームとパズルで遊んで学んで、さらにその先へ！」

組合せゲームは、将棋や囲碁のように運や勘に頼らず頭脳だけで勝負する数理ゲームです。組合せゲーム理論はその必勝法のみならず、計算複雑性や超現実数への応用など、さまざまな数学と絡み合う重要な理論で、特にここ数年世界的に大きく発展しはじめている将来性ある研究分野でもあります。

この分野の日本最大級の研究拠点の一つである広島大学を会場として、2025 年 8 月 24 日から 25 日にかけて、第 9 回日本組合せゲーム理論研究集会が JCGTW (Japan Combinatorial Game Theory Workshop) を主催として開催されます。

その開催を記念し、この度その前日の 8 月 23 日にゲーム大会と公開講座を行います。参加していただける中学生・高校生・大学生・大学院生、そして一般の方を広く募集しています。

「運や勘の方が自信がある」という方でも楽しめる工夫をしていますので、奮ってご参加ください。

事前申込や参加費は不要、当日の飛び入り参加も大歓迎です。可能であれば、事前に人数把握のためのアンケートにご協力下さい。

<https://forms.gle/xk7dPZdr2vHL3NH56>



【日 時】令和 7 年 8 月 23 日 (土) 9:30~17:45

【場 所】理学部 E102 講義室

【定 員】約 100 人

【内 容】

=第 1 部= ゲーム・パズル大会

9:30~12:00 様々な組合せゲームやパズルで遊ぼう！

(1) 石取りゲーム大会

「石取りゲーム」は最も昔から数学的に研究されている組合せゲームであり、日本のお家芸でもあります。まずはこれが基本です。最近広島大学の学生により革新的なルールが提案され、世界中の研究者が注目しています。

(2) リバースオセロ＋Cycle Breaker 大会

リバースオセロは、「とった石が少ない方が勝ち」という逆オセロ。Cycle Breaker は最近発明された新しいゲームで、我々はどちらの必勝法も知りません。こんなことが最新の研究で取り上げられている、という紹介です。

(3) カードベース暗号体験ブース

これは第2部で品川和雅先生が講演されるテーマをあらかじめ体験してもらおうというコーナーです。「秘密計算」や「ゼロ知識証明」といった最先端の暗号理論が、なんとレクリエーションゲームに応用できてしまいます。

(4) ゲーム&パズル問題コーナー

ゲームやパズルは好きだけど、人とワイワイやるよりも、一人でじっくり考える方が好き、という方はこのコーナーで自分の気に入ったゲームやパズルにのめり込んでください。「詰めゲーム」で一人で必勝法を突き詰めるのが好き、という方はまさに数学として組合せゲームを研究するのに向いています！

=第2部= 公開講座

13:30~13:45 ゲーム・パズル大会表彰式

(大会で活躍された方に賞状や副賞を進呈いたします。)

14:00~15:00 講演会 筑波大学・助教・品川和雅氏

15:15~16:15 講演会 神奈川大学・非常勤講師、元筑波大学准教授・坂井公氏

16:30~17:00 チュートリアルセッション「不偏ゲーム*」

(広島大学・大学院先進理工系科学研究科・博士課程後期数学プログラム・森脇悠斗)

17:00~17:45 チュートリアルセッション「非不偏ゲーム**」

(広島大学・大学院先進理工系科学研究科・博士課程前期数学プログラム・和田遥樹)

*不偏ゲーム：石取りゲームのように、どちらのプレイヤーも同じ着手が許されるゲーム。勝敗判定も、平等。

**非不偏ゲーム：囲碁や将棋のように、プレイヤーによって着手が違うゲーム。動かして良い駒や打てる石の色が違う！

詳しくはホームページをご覧ください。

https://sites.google.com/view/hiroshima-cgt/events/jcgtw9_preEvent



【協 賛】 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

※本研究集会は HU-SPRING スキルアップイベントの支援を受けて開催されます。

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

Tel : 082-424-4384

第9回 日本組合せゲーム理論研究集会開催記念
中高大学生及び一般向けゲーム大会＋公開講座

ゲームとパズルで 遊んで学んで、 さらにその先へ!

8/23 **土**

広島大学理学部E102講義室
9:30～17:45

詳細はこちらを
ご覧ください



=第1部= 9:30-12:00 ゲーム・パズル大会

=第2部= 13:30-17:45 公開講座
(ゲーム・パズル大会表彰式, 講演会, チュートリアルセッション)

ゲスト 品川 和雅 先生
(筑波大学助教)

ゲスト 坂井 公 先生
(神奈川大学非常勤講師, 元筑波大学准教授)
『パズルの国のアリス』
(日経サイエンス社)著者

